

不思議に思うこと

2022-7-11 野口幹夫

茅ヶ崎海岸に近いところに住んでいるので、毎朝海岸に出ます。

そこでいつも不思議な景色に出会うのです。砂と小砂利の砂浜が海に接する「なぎさ」にその不思議な風景が生まれるのです。その不思議な光景を写真に撮りました。



遠くに江の島が見えますが江の島から6 Km ほど西の 藤沢に接するあたりの茅ヶ崎海岸です。その不思議さは、この写真では、ちょっとわかりにくいかもしれません。言葉で説明すると、波打ち際から数メートル上がったところに 砂浜の尖った突起ができています。その突起が数メートル間隔でほぼ規則正しく並んでいるのです。

毎朝この現象は見られますが、その形や並び方は毎朝、同じではないのです。

波とにらめっこして、また砂浜のとんがった先とその間の子砂利を注意深く眺めて、どうしてこれが生まれるのか想像しようと思いますが、まったくわかりません。

インターネットで調べると、この現象を「ビーチカスプ」と名付けられていることを知りました。驚くことに数学者がこれを数式で解こうとした論文が出ていました。それを読もうとしたら なおわからなくなりました。数式以前に定性的な説明が欲しいのですが、それもいくつかの仮説が試みられていることを知りました、しかし決定的な説はまだないのだそうです。

私にとっては、今も不思議な謎の現象でいます。明日もまた ちょっと違う彼らに出会うことでしょう。